

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274202403		
法人名	株式会社 日本ケアクオリティ		
事業所名	グループホーム 桜の詩	ユニット名	1階
所在地	静岡県清水区船越2丁目9-71		
自己評価作成日	平成30年12月12日	評価結果市町村受理日	平成31年2月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail/2017_022_kan=true&amp;JigyosvoCd=2274202403-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail/2017_022_kan=true&amp;JigyosvoCd=2274202403-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	セリオコーポレーション有限会社 福祉第三者評価 調査事業部
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町4-1
訪問調査日	平成30年12月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

公園内の緑、桜やみかん畑など駐車場やテラスで四季を楽しむことが出来ます。月に1回はイベントを行い、ご家族にも参加頂き入居者様とともに楽しんでます。毎日の体操や歌、塗り絵や貼り絵、カルタなど健康維持に努めています。職員はホームの理念でもある笑顔を決やさない努力や、笑顔で入居者様と接するよう努めています。また日々穏やかな生活の支援や個別の対応、入居者様同士の交流等、温かな気持ちで支援しています。ホームクニックによる研修は奇数月に行われ受講者が講師を行いホーム内研修を行います。社内研修もホーム内で同様に職員のレベルアップに努めています。医療との連携により、入居者様やご家族、職員は安心して生活しています。また看取りも行いました。運営推進会議や催事では、多数のご家族様に参加して頂いています。ご家族様同士も馴染まれています。ホーム運営にご理解と協力を頂いています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

豊かな自然に囲まれた事業所である。「職員は利用者を楽しい話をする」や「職員が笑顔でいる」等を意識して日々努力している。事業所理念「笑顔の絶えない明るい毎日を支援し続けます」の共有とその実現に努めており、利用者の笑顔が多く見られている。公民館祭りや地区のふれあい祭りに出かけたり、老人福祉会館から招待を受けてクリスマス会や歌の会に参加したりしている。また、毎年地区の子供会の神輿が事業所に寄る等、地域との交流を継続させている。利用者の最近の状況から、散歩に出かけることは減少したが、家族の協力も得て毎月1回のイベントを実施し、利用者は季節の催しや納涼祭、運動会や車を使用した遠出等を楽しんでいる。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様の笑顔が絶えない明るい毎日になるように職員一丸となり努力をしています。散歩に出かけたり、地域の催しに参加し、地域の方達との触れ合いを大切にしています。	事業所の理念「笑顔の絶えない明るい毎日を支援し続けます」を事務室や玄関・居間に掲示している。「職員は利用者を楽しい話をする」や「職員が笑顔でいる」等の日々の努力により、理念の共有とその実現に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	地区の組合に加入しており、避難訓練やお祭りに参加しています。毎年地区の子供会のお神輿がホームに来てくれるのを入居者様達が楽しみにされています。	町内会に加入し、回覧板の回付がある。公民館祭りや地区のふれあい祭りに出かけたり、老人福祉会館から招待を受けてクリスマス会や歌の会に参加したりしている。毎年、地区の子供会の神輿が事業所に寄ってくる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事に率先して出掛け、認知症の支援等の理解をして頂けるように努めています。推進会議では認知症についての勉強会や、職員の研修報告を行ったりしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そでの意見をサービス向上に活かしている	偶数月の第4土曜日と定め、関係各所に年間のお知らせはがきを送っています。会議では質疑応答の時間を設け皆さんの意見をお聞きしています。ホールの壁にはイベントの写真を張り出して皆さんにご覧頂いています。	年の初めに偶数月第4土曜日の開催を決定し、関係各所にハガキで連絡している。民生委員でもある町内会副会長や地域包括支援センター、家族5～6名の参加がある。現況報告や委員会からの報告等を行い、参加者からの意見も出ている。終了後すぐに市へ会議録をFAXで送信している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の年間予定を毎年通知したり、講演や研修等に参加している。生活支援課とは連絡をとり入居者様の生活に不備のないようにしています。	介護保険課には保険更新時等に随時訪問している。生活支援課の訪問が年2回あり、また事業所からも手続き等のため随時訪問している。いずれの課とも連絡は密に行っている。市介護相談員の訪問を毎月受け入れている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定例会等で研修を行っています。カンファレンスで入居者様個々の状態を話合い拘束しないケアに取り組んでいます。	身体拘束廃止委員会は年4回開催し、研修は年3回実施している。毎月開催する全体会議とフロア会議でも話合っている。廃止についての意識を持つことが重要で、会議と研修を繰り返すことにより実践につなげている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修や虐待防止の話し合いを行っています。日頃の介護の様子をご家族にも知って頂くよう、ご家族参加の行事を開催しオープンな施設を心掛けています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護制度を使われている入居者様がおられるので、社会福祉協議会と連絡を密にとり、入居者様が心配なく生活できるようにしています。制度については職員全員が理解できていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	安心して入居して頂くために、利用者様やご家族からの質問や疑問には誠意をもって対応しています。契約書等の内容は分かりやすいように説明しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議等に、ご家族や入居者様に要望や意見を伺っています。玄関には意見箱を置いており定期的に確認しています。要望や意見等の情報は職員間で共有し、カンファレンス等で話し合っています。	面会が多い家族とは面会時に要望や意見を聞き取り、多くの家族とは携帯メールで連絡を取り合っている。運営推進会議や各種イベントに家族が参加する時にも、できるだけ意見を聞き取り、情報を職員間で共有している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行われる管理者会議での情報を職員に伝え、定例会やカンファレンスで職員の意見を聞き話し合いをしています。職員の意見は管理者会議の議題として話し合います。	全体会議やフロア会議では、管理者から職員に問いかけ、意見を求めている。発言は自由であり、日々の業務の中でも意見を聞いている。事業所内での個々の悩みは本社に上げ、会社全体として職員意見の吸い上げをしている。	今回の自己評価は、職員の交代が多く多忙であったため、管理者が一人で作成した。外部評価と自己評価への理解、参画意識の向上等のため、今後は多くの職員の参画を期待したい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期昇給や資格取得による昇給、祝い金があります。離職をしない職場作りにも力を入れており、福利厚生充実、休憩時間の確保等や自己評価制度を採り入れ職員の意識向上に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・ホームクリニック研修へ順番に参加し参加者がホーム内研修を行うことにしています。外部研修の案内の掲示もしています。研修委員会があり、外部講師による研修も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の見学は随時オープンにしている。当社内の他グループホームとの交流や応援活動で他のホームを知り質の向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居までの生活の把握に努め、話しやすい環境を作ったうえで、ご本人の話を傾聴している。情報は職員間で共有し、安心して生活して頂けるように支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族等の話をお聞きし、意向をくみ取り安心して入居して頂けるように誠意を込めて対応しています。ご家族の不安材料を解消できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人だけではなく、ご家族からの意向も取り入れケアプランを作成しています。マッサージや医療との連携を図り、本人に「今」必要なサービスを提供するよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共有スペースの掃除、洗濯干しや畳む作業、食器拭き等、個々の出来ることに合わせて家事を一緒に行っています。それぞれが自分の役割を持つことで一方的に介護されているのではなく支えあう関係作りに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の月次報告書や、桜の詩通信によりご本人の様子を伝えると同時にイベントのお知らせをしています。ご家族参加型のイベントを開催しています。ご家族との面会や外出、電話での会話を積極的に支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会や電話ができるような環境作りに努めています。ご家族との外出、外食も自由に出来るようにマッサージや受診の時間を調節し支援しています。	親戚や兄弟の訪問がある利用者や、家族と一緒に法事や墓参りに出かけたり、孫の結婚式に出席したり、家族との外食を楽しむ利用者がいる。それぞれについて関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者様同士をお誘いし、ドライブや外食、お茶を飲みに出かけ楽しい時間を作るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も、季節ごとの挨拶状を失礼のないように送っています。また退居されてから数年たってもご家族から年賀状を頂いたりしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の御意向を伺い、その方に応じたケアプランを立て、職員間で共有し支援に努めています。困難な場合は、本人の思いをくみ取り家族とも話し合いケアプランを立て実行に繋げている。	介護計画により作成された利用者毎のタイムスケジュールを全員が共有している。個々の支援経過記録には、日頃の行動や訴え、また職員の気付き等が記録されている。得られた情報で支援方法も変更し、思いや意向に沿うように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前アセスメントを出来るだけ詳しく記入し職員間で情報を共有している。入居後もご本人の様子によっては再度ご家族から情報を提供して頂き少しでも今までの暮らしに近い生活をして頂けるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りの徹底や日程表の記入で職員間の情報を共有し、一人ひとりの状態の把握に努めている。カンファレンスで情報や意見交換をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを開き、モニタリングは担当者が他職員とで行い、いろんな視点からご本人の現状を把握できるよう努めている。本人やご家族との話し合いの時間を設けより良く生活できるように支援している。	計画は6ヶ月毎に見直されるが、状況の変化で随時更新され、現状に即した計画で支援している。カンファレンスでは、担当者が支援経過記録からまとめたモニタリング資料で話し合い、リーダーを中心に集約して計画に反映させている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りを徹底し日々の様子やプランの実践等を記録しています。職員間で情報を共有し個々の様子観察に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人が不穩の際は個別対応でドライブにお誘いしたり、ご家族と電話で話す時間を作る等の対応をしている。ご家族の不安やご本人には言えない悩み等は時間を作り話を伺い少しでも安心して頂けるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	中学生の職場体験も受け入れている。住み慣れた近隣の方々の面会を受け入れている。近隣を散歩し、農家の作物を購入し会話を楽しみ、季節の移ろいを感じている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームドクターの定期診察が月に2回以上あり、その他にも体調の変化がある場合は臨時往診も迅速に対応している。薬の服薬相談もかかりつけの薬局に相談、援助を受けている。医療との連携で看取りも行っています	24時間オンコールで各分野の専門医が在籍する在宅医療機関が協力医である。月2回の定期受診の他、健康管理のための訪問もあり、利用者全員のかかりつけ医でもある。薬局との連携も良く、利用者毎の服薬管理も円滑に行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期受診時の相談や訪問看護により健康管理をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ホームでの生活状況や、入院に至る経緯を詳しく説明しドクターや看護師との連携に努めている。病気等の経過やご本人の様子等をドクターに伺い今後の生活について話しています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期を迎えた入居者様には介護計画を作成し、医療との連携や個々にあったケアを掛けています。入居時や推進会議等で看取り等の説明をしています。普段より健康状態をお知らせし、体調変化をその都度ドクターからご家族へ説明頂きご家族とは十分に話し合い協力頂いています	入居時に重度化や終末期について説明している。その期に至った場合には、医師の説明も交えて事業所の支援体制について確認し合い、環境を整えば介護計画を更新して看取りまで行う体制がある。職員は医療機関が主催する看取りの研修に出席し、昨年は1名を看取っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は救急法の研修に参加したり、医師によるその時期に応じた研修を受けている。24時間体制で医師への相談や指示が聴けることで慌てることなく安心してケアすることが出来ています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員が順に防災訓練に参加するように計画しています。地震・火災・土砂災害等の訓練を行い、当社では災害時事業継続計画(BCP)の研修を行っている。	事業所の防災委員が主導し法定火災訓練のほか、事業所の立地条件から推定される土砂災害を想定した訓練等も行っている。利用者の避難は建屋内を第一としており、備蓄品の定期点検や入れ替えも行っている。	町内会からの回覧で防災訓練には職員が参加しているが、事業所と自主防災組織との接点が見えてこない。双方の連携について今後の検討を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損ねないよう、個々の対応や声掛けに気を遣い、穏やかに生活して頂けるように心掛けている。	事業所理念に沿って、笑顔を絶やさない明るい毎日を支援し続けるためには、人としての尊厳を重んじ、またプライバシーを損ねない支援が大切である。そのことを全職員が理解し利用者一人ひとりに関わっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	落ち着いた環境の中での傾聴を心掛けている。解り易い声掛けで、思いを引き出せる会話に努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人そのために の企業信条に沿い、個々の生活や行動を優先出来るよう、その日の職員が話し合い希望に添えるように努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	若いころや入居前の生活を伺い、その方の生活スタイルや思いに添えるよう支援している。季節に合った服装など、ご家族に相談しながら衣替えを行っています。本職によるヘアカットをホーム内で行い洗髪は職員が行っています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	近所の喫茶店に出かけたり、パンの販売車や手作りおやつを提供しています。餃子やいなり寿司等、皆様に手伝って頂きながら一緒に作っています。配膳や下膳、食器拭き、食材の買い物等一緒に行っています	普段は、食事作り専門の職員により調理された品々が食卓を賑わしている。昼食時のリビングにはモーツァルトの音楽が流れ、職員と楽しく話しながら食事を摂っている。食事時の関わりは、個々に応じて仕事を依頼している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂取量をチェック、一日の水分量は必ずチェックしており、体重も入浴毎に測定しています。一人一人の好き嫌いの把握をし、職員間で情報を共有しています。栄養バランスについては薬剤師、ドクター、看護師に相談しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛け、見守り、仕上げ介助等を行い、口腔内の清潔を心掛けています。義歯の消毒、口腔ケアグッズの消毒も行っています。個々に歯科往診や歯科衛生士による口腔ケアや指導を受けています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を生かし、一人ひとりの排泄のパターンの把握に努め声掛け誘導しています。昼間と夜間のオムツ等の使用を変えてトイレでの排泄を支援しています	事業所独自の排泄チェック表により、適切なトイレ誘導を心がけている。日中は布パンツ又はリハビリパンツで過ごし、快適な日常生活が送れるように自立へ向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表に細かく記録し排便量や便秘状態を把握しています。起床時は毎朝お水、または牛乳を一杯飲んで頂き、食後にはトイレに行き座る習慣を作っています。ドクター、看護師、薬剤師との連携を図り予防に取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々のスケジュール、体調等、希望に添えるよう柔軟に対応しています。入浴やシャワー浴、清拭等、表を作り清潔を保てるよう努めています。	週2～3回の入浴を目安に支援している。入浴チェック表には、個々に詳細までを記録している。個人の状況に合った支援を考えながら声掛けを行い全員が入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や体力等を考慮して休んで頂いています。時には居間のソファで休まれる方もいます。温度管理(空調等)を行い心地よい睡眠がとれるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	指定の薬局の薬剤師と連携を図り連絡、相談はまめに行っています。医師との連携も行っています。薬剤師による薬の説明や研修を行い職員の薬に対する知識向上に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事(食器拭き、洗濯干し、畳む作業、掃除等)それぞれの状態に合わせ役割を決め分担して行っています。食べるのが好きな方とは外食、団体行動が苦手な方とは個別ドライブ等、散歩、買い物等で気分転換を図っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩に出かけたり、買い物同行、ドライブ等個々の希望を聞いて実行しています。地域の行事に出かける際は、ご家族に同行の協力をお願いしています。	自然に囲まれた事業所で戸外に出れば季節を感じられる。穏やかな日は広い駐車場のベンチが外気浴の場となり、道行くハイヤーと挨拶を交わしている。利用者は散歩で喫茶店に立ち寄り、買い物に同行したりする。家族に協力を依頼し、ドライブや地域の祭りに参加する利用者もいる。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や外食時にその方の状況に合わせて、ご自分でお財布を所持し、払って頂く方もおられます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでもご家族等に電話を掛けられるように支援しています。こちらから電話を掛けて話して頂くこともしています。ご家族や大切な人に挨拶を出す様に心掛けています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節のカレンダーを作り、入居者様にちぎり絵または塗り絵をして頂いたものを掲示しています。また入居者様の年代に合わせた音楽CDをかけています。イベントの写真を掲示しており、入居者様同士でご覧になられていることもあります。テラスでは花を育てており居間からの景色を楽しめるよう工夫しています。	広いリビングは採光も良く、日中の殆どを静かに落ち着いて過ごす生活の場となっている。壁面には様々な行事での笑顔溢れる写真や季節感ある作品が掲示され、利用者の日常生活が理解できる。その様子は違和感なく、生活の中に溶け込んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にはソファが置いてあり気の合う同士で利用できるようになっています。テラスにはテーブルと椅子も用意しており外気浴やテラスでお茶を飲まれることもあります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご本人の慣れ親しんだ家具が配置されており、ご家族との写真や、誕生日の色紙等が飾ってあります。仏壇を置かれている方には職員が、お水替えの支援をしています	居室での生活は慣れ親しんだ家庭での生活の延長であり、思い思いの品を持ち込むよう願っている。居室担当者がモップ掛けなどの支援を行うが、自立生活を支援する意味で利用者と一緒にしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホームの建物内はバリアフリーになっています。回廊式になっており、歩行練習に回られています。テラスでは花の手入れが出来、安全に行えるよう支援しています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2274202403		
法人名	株式会社 日本ケアクオリティ		
事業所名	グループホーム 桜の詩	ユニット名	2階
所在地	静岡県清水区船越2丁目9-71		
自己評価作成日	平成30年12月12日	評価結果市町村受理日	平成31年2月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2274202403-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2274202403-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	セリオコーポレーション株式会社 福祉第三者評価 調査事業部		
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町4-1		
訪問調査日	平成30年12月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

公園内の緑、桜やみかん畑など駐車場やテラスで四季を楽しむことが出来ます。月に1回はイベントを行い、ご家族にも参加頂き入居者様とともに楽しんでいます。毎日の体操や歌、塗り絵や貼り絵、カルタなど健康維持に努めています。職員はホームの理念でもある笑顔を決やさない努力や、笑顔で入居者様と接するよう努めています。また日々穏やかな生活の支援や個別の対応、入居者様同士の交流等、温かな気持ちで支援しています。ホームクリニックによる研修は奇数月に行われ受講者が講師を行いホーム内研修を行います。社内研修もホーム内で同様に職員のレベルアップに努めています。医療との連携により、入居者様やご家族、職員は安心して生活しています。また看取りも行いました。運営推進会議や催事では、多数のご家族様に参加して頂いています。ご家族様同士も馴染まれています。ホーム運営にご理解と協力を頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価票に記入されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様の笑顔が絶えない明るい毎日になるように職員一丸となり努力をしています。散歩に出かけたり、地域の催しに参加し、地域の方達との触れ合いを大切にしています。	※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価票に記入されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の組合に加入しており、避難訓練やお祭りに参加しています。毎年地区の子供会のお神輿がホームに来てくれるのを入居者様達を楽しみにされています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事に率先して出掛け、認知症の支援等の理解をして頂けるように努めています。推進会議では認知症についての勉強会や、職員の研修報告を行ったりしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	偶数月の第4土曜日と定め、関係各所に年間のお知らせはがきを送っています。会議では質疑応答の時間を設け皆さんの意見をお聞きしています。ホールの壁にはイベントの写真を張り出して皆さんにご覧頂いています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の年間予定を毎年通知したり、講演や研修等に参加している。生活支援課とは連絡をとり入居者様の生活に不備のないようにしています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定例会等で研修を行っています。カンファレンスで入居者様個々の状態を話し合い拘束しないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修や虐待防止の話し合いを行っています。日頃の介護の様子をご家族にも知って頂くよう、ご家族参加の行事を開催しオープンな施設を心掛けています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護制度を使われている入居者様がおられるので、社会福祉協議会と連絡を密にとり、入居者様が心配なく生活できるようにしています。制度については職員全員が理解できていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	安心して入居して頂くために、利用者様やご家族からの質問や疑問には誠意をもって対応しています。契約書等の内容は分かりやすいように説明しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議等に、ご家族や入居者様に要望や意見を伺っています。玄関には意見箱を置いており定期的に確認しています。要望や意見等の情報は職員間で共有し、カンファレンス等で話し合っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行われる管理者会議での情報を職員に伝え、定例会やカンファレンスで職員の意見を聞き話し合いをしています。職員の意見は管理者会議の議題として話し合います。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期昇給や資格取得による昇給、祝い金があります。離職をしない職場作りにも力を入れており、福利厚生充実、休憩時間の確保等や自己評価制度を採り入れ職員の意識向上に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・ホームクリニック研修へ順番に参加し参加者がホーム内研修を行うことにしています。外部研修の案内の掲示もしています。研修委員会があり、外部講師による研修も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の見学は随時オープンにしている。当社内の他グループホームとの交流や応援活動で他のホームを知り質の向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居までの生活の把握に努め、話しやすい環境を作ったうえで、ご本人の話を傾聴している。情報は職員間で共有し、安心して生活して頂けるように支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族等の話をお聞きし、意向をくみ取り安心して入居して頂けるように誠意を込めて対応しています。ご家族の不安材料を解消できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人だけではなく、ご家族からの意向も取り入れケアプランを作成しています。マッサージや医療との連携を図り、本人に「今」必要なサービスを提供するよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共有スペースの掃除、洗濯干しや畳む作業、食器拭き等、個々の出来ることに合わせて家事を一緒に行っています。それぞれが自分の役割を持つことで一方的に介護されているのではなく支えあう関係作りに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の月次報告書や、桜の詩通信によりご本人の様子を伝えると同時にイベントのお知らせをしています。ご家族参加型のイベントを開催しています。ご家族との面会や外出、電話での会話を積極的に支援しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会や電話ができるような環境作りに努めています。ご家族との外出、外食も自由に出来るようにマッサージや受診の時間を調節し支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者様同士をお誘いし、ドライブや外食、お茶を飲みに出かけ楽しい時間を作るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も、季節ごとの挨拶状を失礼のないように送っています。また退居されてから数年たってもご家族から年賀状を頂いたりしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の御意向を伺い、その方に応じたケアプランを立て、職員間で共有し支援に努めています。困難な場合は、本人の思いをくみ取り家族とも話し合いケアプランを立て実行に繋げている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前アセスメントを出来るだけ詳しく記入し職員間で情報を共有している。入居後もご本人の様子によっては再度ご家族から情報を提供して頂き少しでも今までの暮らしに近い生活をして頂けるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りの徹底や日程表の記入で職員間の情報を共有し、一人ひとりの状態の把握に努めている。カンファレンスで情報や意見交換をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを開き、モニタリングは担当者が他職員とで行い、いろんな視点からご本人の現状を把握できるよう努めている。本人やご家族との話し合いの時間を設けより良く生活できるように支援している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りを徹底し日々の様子やプランの実践等を記録しています。職員間で情報を共有し個々の様子観察に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人が不穏の際は個別対応でドライブにお誘いしたり、ご家族と電話で話す時間を作る等の対応をしている。ご家族の不安やご本人には言えない悩み等は時間を作り話を伺い少しでも安心して頂けるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	中学生の職場体験も受け入れている。住み慣れた近隣の方々の面会を受け入れている。近隣を散歩し、農家の作物を購入し会話を楽しみ、季節の移ろいを感じている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームドクターの定期診察が月に2回以上あり、その他にも体調の変化がある場合は臨時往診も迅速に対応している。薬の服薬相談もかかりつけの薬局に相談、援助を受けている。医療との連携で看取りも行っています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期受診時の相談や訪問看護により健康管理をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ホームでの生活状況や、入院に至る経緯を詳しく説明しドクターや看護師との連携に努めている。病気等の経過やご本人の様子等をドクターに伺い今後の生活について話しています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期を迎えた入居者様には介護計画を作成し、医療との連携や個々にあったケアを掛けています。入居時や推進会議等で看取り等の説明をしています。普段より健康状態をお知らせし、体調変化をその都度ドクターからご家族へ説明頂きご家族とは十分に話し合い協力頂いています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は救急法の研修に参加したり、医師によるその時期に応じた研修を受けている。24時間体制で医師への相談や指示が聴けることで慌てることなく安心してケアすることが出来ています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員が順に防災訓練に参加するように計画しています。地震・火災・土砂災害等の訓練を行い、当社では災害時事業継続計画(BCP)の研修を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損ねないよう、個々の対応や声掛けに気を遣い、穏やかに生活して頂けるように心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	落ち着いた環境の中での傾聴を心掛けている。解り易い声掛けで、思いを引き出せる会話に努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人そのために の企業信条に沿い、個々の生活や行動を優先出来るよう、その日の職員が話し合い希望に添えるように努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	若いころや入居前の生活を伺い、その方の生活スタイルや思いに添えるよう支援している。季節に合った服装など、ご家族に相談しながら衣替えを行っています。本職によるヘアカットをホーム内で行い洗髪は職員が行っています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	近所の喫茶店に出かけたり、パンの販売車や手作りおやつを提供しています。餃子やいなり寿司等、皆様に手伝って頂きながら一緒に作っています。配膳や下膳、食器拭き、食材の買い物等一緒に行っています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂取量をチェック、一日の水分量は必ずチェックしており、体重も入浴毎に測定しています。一人一人の好き嫌いの把握をし、職員間で情報を共有しています。栄養バランスについては薬剤師、ドクター、看護師に相談しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声掛け、見守り、仕上げ介助等を行い、口腔内の清潔を心掛けています。義歯の消毒、口腔ケアグッズの消毒も行っています。個々に歯科往診や歯科衛生士による口腔ケアや指導を受けています		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を生かし、一人ひとりの排泄のパターンの把握に努め声掛け誘導しています。昼間と夜間のオムツ等の使用を変えてトイレでの排泄を支援しています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表に細かく記録し排便量や便秘状態を把握しています。起床時は毎朝お水、または牛乳を一杯飲んで頂き、食後にはトイレに行き座る習慣を作っています。ドクター、看護師、薬剤師との連携を図り予防に取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々のスケジュール、体調等、希望に添えるよう柔軟に対応しています。入浴やシャワー浴、清拭等、表を作り清潔を保てるよう努めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や体力等を考慮して休んで頂いています。時には居間のソファで休まれる方もいます。温度管理(空調等)を行い心地よい睡眠がとれるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	指定の薬局の薬剤師と連携を図り連絡、相談はまめに行っています。医師との連携も行っています。薬剤師による薬の説明や研修を行い職員の薬に対する知識向上に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事(食器拭き、洗濯干し、畳む作業、掃除等)それぞれの状態に合わせて役割を決め分担して行っています。食べることが好きな方とは外食、団体行動が苦手な方とは個別ドライブ等、散歩、買い物等で気分転換を図っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩に出かけたり、買い物同行、ドライブ等個々の希望を聞いて実行しています。地域の行事に出かける際は、ご家族に同行の協力をお願いしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物や外食時にその方の状況に合わせて、ご自分でお財布を所持し、払って頂く方もおられます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでもご家族等に電話を掛けられるように支援しています。こちらから電話を掛けて話して頂くこともしています。ご家族や大切な人に挨拶を出す様に心掛けています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節のカレンダーを作り、入居者様にちぎり絵または塗り絵をして頂いたものを掲示しています。また入居者様の年代に合わせた音楽CDをかけています。イベントの写真を掲示しており、入居者様同士でご覧になられていることもあります。テラスでは花を育てており居間からの景色を楽しまれるよう工夫しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にはソファが置いてあり気の合う同士で利用できるようになっています。テラスにはテーブルと椅子も用意しており外気浴やテラスでお茶を飲まれることもあります。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご本人の慣れ親しんだ家具が配置されており、ご家族との写真や、誕生日の色紙等が飾ってあります。仏壇を置かれている方には職員が、お水替えの支援をしています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホームの建物内はバリアフリーになっています。回廊式になっており、歩行練習に回られています。テラスでは花の手入れが出来、安全に行えるよう支援しています。		